

Mr. Bike

カスタムバイク

どきやんも、こきやんもなか!

九州カスタムたい!!



そうかい、そうかい九州改? そうたい、そうたいカスタムたい!
ってことで、ぶん回しボーイ・山銀の奇々改々ぶん回し行脚ですたい!

新・男の無駄遣い。

カスタムしたい。
あんな風にこんな風に……
夢は広がるばかり。
世界に1台だけの
ボクのマシンを作りたーい!!
ヨダレ物の一品、世界の逸品、
今一番旬なパーツを大紹介!
無駄遣いしてこそ、
オトコよっ! ネット?!



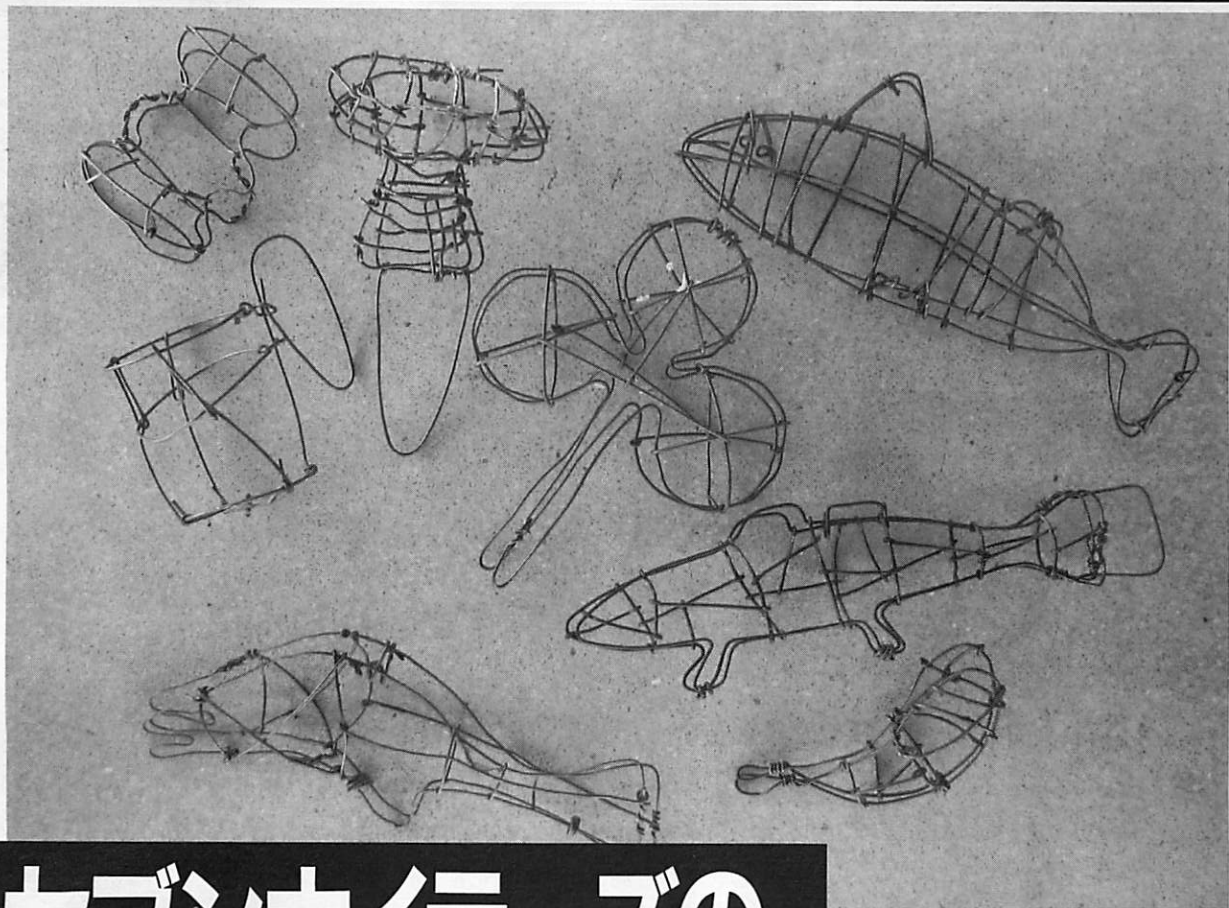
高速道路二人乗り 無条件解禁はムリ!?

道路公団民営化問題は揺れてるわ、
「高速道路通行料の無料化!」
と民主党はぶち上げるわ、
混迷の政治状況。
だけど、高速道路二人乗りの解禁は、
いったい今、どーなってるんですか!?

2003
12
¥350

全国七輪ライダーズミーティング

ここまできたら、やめられない **第4回** in 東京・城南島海浜公園



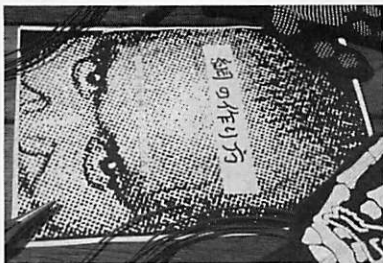
セブンホイラーズの 俺仕様の網作り

世界でたったひとつ、を是非!

七輪の上で、焼き物をする際に必要とされる“網”
皆さんがご想像する物は、オールマイティなあの網だろう。
しかし、我々はチョイと通になりたい。専用網をこさえたい。
手作りで、自分だけの使い勝手の良い網を作り、
旅の空の下、手作り網を使って食に会話を楽しもうではないか。

●撮影——ヤマホンクラハチミツ・ドギンスカヤ
●網制作技術協力——四畳半の住人(H P=<http://homepage2.nifty.com/NG/>)





網制作は、四畳半の住人さん（知人ぞ知る）から技術提供を受け、作り方のシオリが完成した。HPからの引用ともいいますが、セブンホイラーズ・マスコットの「ヒロチン」をあしらった表紙がファンを魅了する。



いい夫人が平日の昼間に

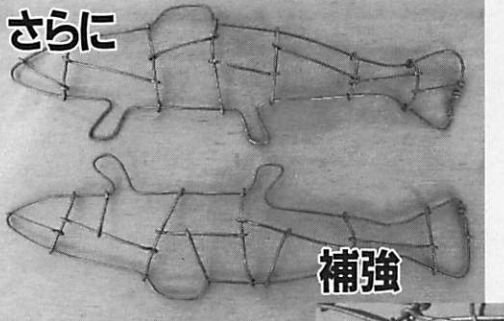
城南島特設会場に網作りの開始を告げるゴングが鳴り響いた。夜通し走行してきた39歳&40歳コンビ。タフです。



全国集会4回目にして新たなセブンホイラーが加入。神戸より参上の中央のニンジャ乗り、姓は松永、名は祐介。アットホーム湾岸パトラーを名乗り、家族の行事をなによりも重んじる鉄製七輪オーナー。第2回に申し込んでいたものの不参加、今回晴れて参加が実現。

手作り網への挑戦。

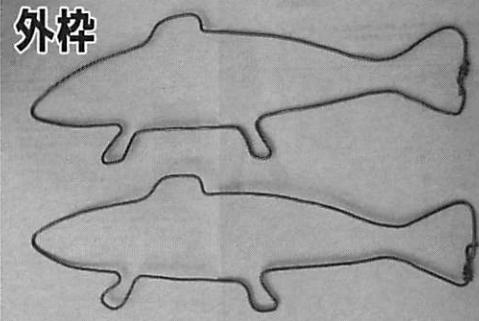
さらに



補強

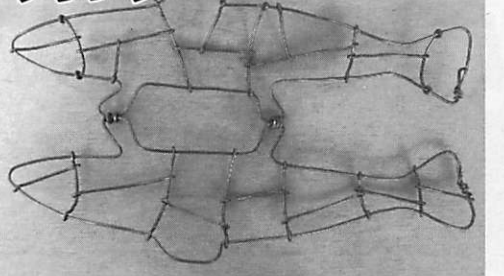
③ 網のズレを防ぐために補強を加える。焼く中身のサイズに合わせて、こぼれ落ちがない様なら大満足！ 檻の完成だ。

外枠



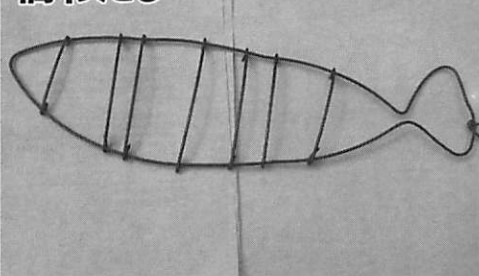
① まずは焼く物になる物をイメージして外枠を作ります。手前に焼く物を用意しゲージ代わりに使用すると失敗はしないでしょ。その外枠にうり二つな物をもうひとつこさえる。出来るだけ同寸法でコピーしよう。

クランプ



④ 網は開閉式と洒落てみます。なので、2箇所ほどに開閉式用のクランプ部を設ける。クランプは3~4巻ほどのバネ状の物を作ればOK。そして、バネ状のクランプで関節部で束ねる。

橋わたし



② 焼く物を挟んだ時に落ちないように橋わたし。焼く物の厚みを考慮し湾曲させることをお忘れなく。さらに、その湾曲は、つがいの外枠に対し左右対称でなくてはならない。なぜでしょう？ 答えは考えてみよう。

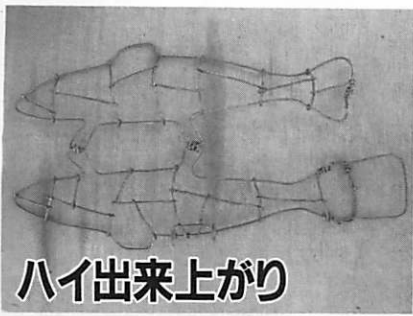
素材を活かす
オリジナル網。

ここで紹介している網とは、四畳半の住人さん（HP = <http://homepage2.nifty.com/NG/>）がインターネットホームページで紹介している手作り網を参考に制作させていただきました。

基本的に、サンマ用で開発？

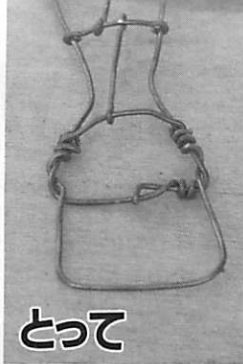
された網は、焼く物自体を挟み込む開閉式の物となっている。この挟み込み式の利点として、魚などをひっくり返すたびに皮や身が網自体にこびりつき剥がれ落ちる、そんな事態を回避するには最も有効的機構となっている。そう、網自体をひっくり返すので、焼けるまで網に付いた皮や身はそのまま、焼き上がった際に初めて取り出すことが出来るのだ（しっかり焼き上がれば網から綺麗に剥がれるものなのだ）。

用意する物は、針金（お気に入り）、ペンチ、ラジオペンチ（細かい曲げには絶対必要）、ニッパー、トライ&エラーへっちゃら魂。作り方の詳細は、四畳半の住人さんのHPにお邪魔するとわかりやすく掲載されています。



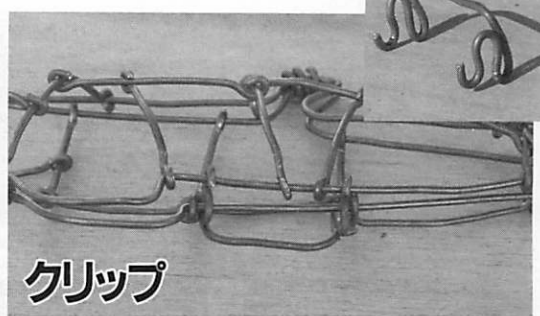
ハイ出来上がり

⑦器用軍団(自称)セブンホイルズ平均完成時間は1時間45分。最も時間の掛かった山銀で2時間15分。魚に足を付けると時間が掛かることが証明された結果となった。



とって

⑥とっては、火があたる部分からオフセットされる様に考えましょう。手が汚れず返せるので大変重宝。

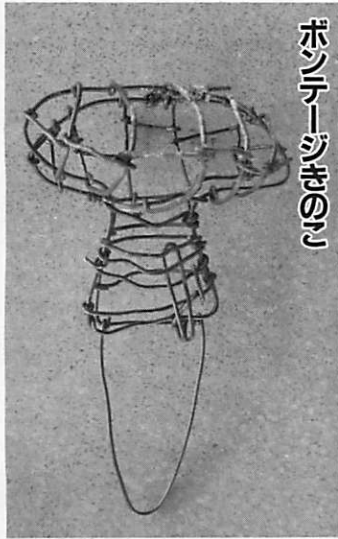


クリップ

⑤右上のカット様なクリップで、中身をこぼさぬ強固な絆が誕生。網をひっくり返す際に効果絶大! 使い勝手の良い網を作るには忘れてはいけません、面倒くさがらずビューティフル・クリップ・ライフをお過ごし下さい。

怒涛の器用さと勢いで、平均2時間で

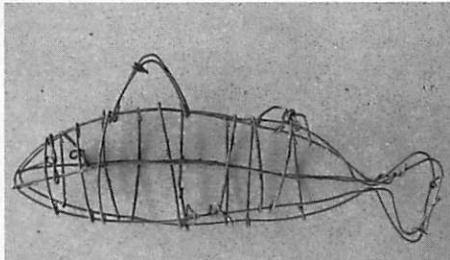
完成!!



ボンテージ(のり)

バター作品

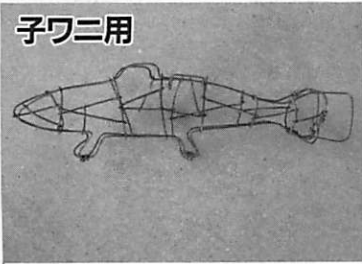
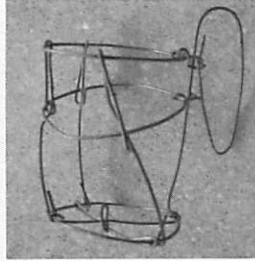
◀「キノコってこんな具合?」と、強烈にイメージが片寄り、食べるとなぜか大きくなったり火の玉が出せたりしそうで、かなり夢見がちな作品に仕上がる。しかし、構わしたの技術はメンバー随一、立体キノコポディ成形に成功。メンバーの涙を誘った奇跡的逸品。



ただの魚型?

ワンガン松永作品

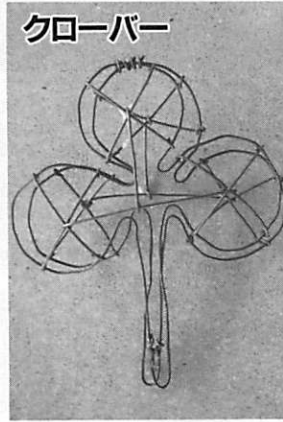
▲◀魚型網は焼く物選ばずの汎用性の高い物となっている。ちなみに、ワンガン松永は魚が苦手だったりして……、しかしあえて魚型。ベーシック且つ汎用性の高さから、セブンホイルズ推薦網型に認定され、長くその功績が讃えられる。さらに、いち早く魚型を完成させ、空き缶用熱燗網までこさえてしまった。寒くなるこれからの季節、七輪で熱燗……ジーンと心にしみる作品だ。



子ワニ用

山銀作品

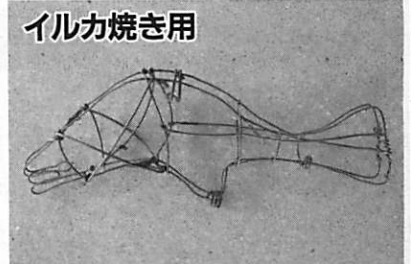
▲四畳半住人氏のマニュアル通り仕上げた見本ともいえる作品。ワンポイントとして足を生やしてみたが、「付けなくても良かったかも……」とインタビューに応え、制作の足を引っ張ったとして後悔だけが残っている様子。



クローバー

会長作品

◀第21回御菓子博覧会・名誉金賞受賞「丸餅」のみに照準を合わせた意欲作。クローバー型モチ焼きの豊かなデザイン性に、満場一致でグッドデザイン賞が贈られた。'03年暮れの犬物出沒に会場のどよめきは収まらない。枝の部分がとってとなりホルドも同時に出るので、一石二鳥という機能発掘。



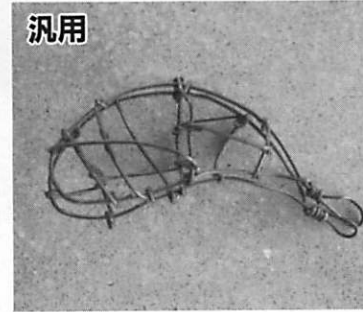
イルカ焼き用

ゲキヤス作品

▲ひとたび口を開ければ数千のオキアミが餌食となり、その猫背から繰り出されるアタックパワーはミッキーロークの猫パンチ並み、そんな魚用の網。イルカ用と噂高いが、イルカの赤ちゃんの方が20倍ほど大きかったりする。



あとは網に合う食材探し



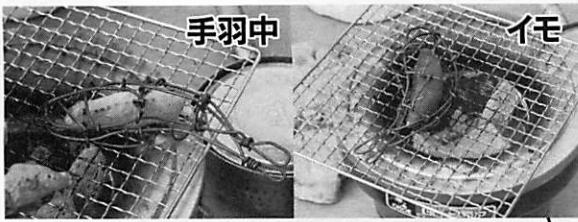
汎用

シティ作品

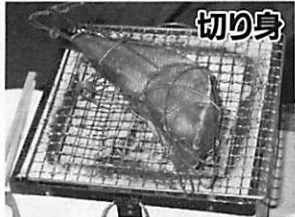
◀汎用性の高さを武器に巻き返しを図りたいところだが、作り手の飽きっぽい性格故にクリップ制作を怠った適当ぶりを露呈。ウィナー2本入れてやっとの大きさはメンバーの中でも最小、コンパクト七輪や、メイン焼き物の脇でひっそり焼くのに便利かと。

焼いたるでー!!

手作り俺仕様の網をぶら下げ買い物に繰り出し、七輪に火を入れいざ宴の始まり始まり～。
 手作りの伝統技術に触れてきたセブンホイラーズ、その貴重な体験を活かすべく己の可能性に挑み、生み出されたワン&オンリーな網達で、どう？



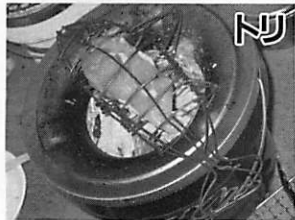
ぶっちぎり体勢で、タコ(刺身用)、イモ、ウイナー、手羽中等々汎用性を活かして対応食材の多さで他を圧倒するシティ。ひっくり返すとこぼれる悪癖アリ。



異形ボディで異彩を放つゲキヤス作品に、切り身魚がセットされ周囲の度肝を抜く。「あの網に合う魚があるなんて」周囲の声。



食材の餅を持参し、その餅用の網を制作したのに大誤算。餅に厚みがあり、網が締まらないという絞まらない結果に。



ある意味汎用性の高い魚型の網からは、次々に食材が焼かれて行く。買ったばかりのニンジャ七輪で快勝のワンガン松永。



目測バッチシ！ あつらえた様にジャストフィット！ シッポはみ出てますか等々喋内という事で。焼き上がり格段に良し！



傘より胴体が巨大なエリンギ君は見事胴体をさげ出す。逆に椎茸だとスペース余りすぎ病発。でもなぜか楽しげな谷目のヒットマン・バター進藤。網に合うサイズのキノコに出会うまで旅を続けて頂きたい。

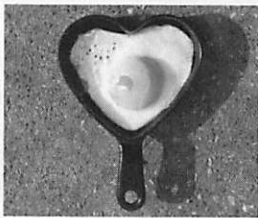
夜通し走って網作り。阿呆だね。

第4回を迎えた全国七輪ライダースミューティング。今回のミューティングの焦点となるのは、前ページでその制作過程を紹介している「オリジナル網作り」である。全国から集まった、とはいえ七輪故に七人だワイとはしゃげない6人での開催と相成った。会場は東京は臨海・城南島海浜公園特設会場。なに気にキャンプ場があります。遠くは福井の会長・長尾。そして新たに仲間として加わったのが、第2回大会を家族の事情で辞退した、アットホーム湾岸ボトラーを自負する松永祐介(40歳・妻持ち)。家族の用事が第一のお父さんワンガン松永は、激務&家庭の事情をかいぐぐり見事念願だったセブンホイラーズと合流。名刺代わりの真新しい鉄製七輪を抱えての参加だ。

千葉からは、皆勤賞ものの谷目の結婚志願者・バター進藤、そして息を吸いながら笑う俳優として、少少なりとも活躍するゲキヤス佐藤。編集団からは最近七輪のひび割れが気になるシティ。なぜかリーゼント鈴木木置きみやげの練り物に固執する山銀。練り物が崩れる瞬間が見てみたい」と執拗に練り物を酷使し続ける。大まかに「網を作る」とだけ告

げられていた参加者は、当日いきなり作り方のシオリを手渡され、イメージを膨らませつつ額に汗して網作りに専念したのであった。参加者誰もが初めて取り組む網作り、不格好さや作り方のミスなど「いい大人が」昼間っからハシヤギながら、秋晴れの空の下がな

い日を過ごしたのであった。普段はなにをしてるんだ?」と他のキャンプ客や周囲の目を気にすることのないセブンホイラーズ。当然だ、平日であろうが彼らにとってははれつきとしたホリデイなのだ。この日のために仕事をし、家族サービスに専念し、やる事やつてのけた大人だけに許された「Quiet Time」(11月号・ヤンデ



イ語録より引用)「なのだ。親のすねかじり、遊び人、口開けっ放しの魂抜かれた惚け人、そんなヤツはここにはいない。働いてこそ磨かれる男の頭……もとい、器かな。そんな、磨かれた大きな器を持つ大人達が造り上げた手作りの網達。いささか不格好は可愛敬、生き方が反映されてるかの様。艱難辛苦乗り越えて仕上がった6つの燃えさかる世界。旅の空の下、仲間たちとまた贅沢な時間を過ごすことが許されたことに感謝。

秋の夜長は、

熱く、そして尽きない。

七輪家族・岡本家

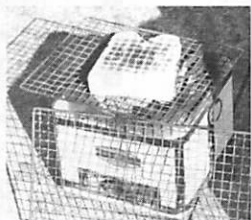
シティ鳴海がお邪魔した朝霧ジャムにてボランティアスタッフで参加していた岡本さん。実は熱狂的なシチリナーで、家族や友達と参加。愛用の練り物七輪と、今回の網作りにシンクロするが如く、補修しまくり年期は入りまくりの網を引っ提げやってくる。

出張ついでに! PB佐藤

南部鉄器見学に参加したアスファルトダンサー・PB★佐藤登場。珪藻土切り出し提灯(通称・七輪)を丸和工業にて購入したとの報告会が開かれた。全国各地をショーでささ回りに、はたまたツーリングやクロカンの相棒として出勤することだろう。



全国集会は見事に平日の日中に開かれます。見学会したり網作ったり、かなり浮世離れしています。ですが、夜の宴にはどこからともなく仲間たちが集まってきます。これ七輪のチカラ也。旅の夜、尽きないわいもない会話と七輪料理、贅沢すぎる時間アナタもいかが? 実は、フェローズ・ヤンディー氏も合流してたり。



洋食だってイケます。



ブレイクファーストも七輪で。

福井から会長上京の一報を受け、ミスター・バイク編集部・鶴の木特別会場(編集部室内上ともいう)にて、朝飯のおもてなし。七輪でパンを焼きクッカーでスクランブルエッグ、焼きウインナーを挟んでバクリンコ。都会の喧嘩を見下ろしブレイクファースト、なかなか乙なもの。近頃、編集部を訪れる客人の接待は主に屋上となっております。

来月はあるのか?

